



第1回川上中学校公開授業研究会の開催

6月16日(金)に山口県教育庁 義務教育課 指導主事 田村恵美先生を講師にお招きし、2年生の音楽の授業研究会を行いました。この日のために、2度も事前に田村先生と市内中学校の音楽科の先生に来校していただき、指導案を検討し本番に備えました。

内容は、音楽鑑賞の分野で、『「フーガ ト短調」の主題の現れ方や旋律の重なり方の特徴をつかみ、その特徴が生み出す曲想について考える』でした。生徒たちは、班で「蛙の歌」を輪唱したり、楽譜を見ながら曲を何度も聞いたり、キーボードで曲を弾いたりすることで、「フーガ ト短調」の曲の構造と曲想との関わりや特徴、雰囲気、良さなどを味わうことができました。今回の授業を通して学んだことを、曲の聴き方を深めたり、表現の工夫を高めたりすることに繋がりたいと思います。

なお、授業後に参観していただいた先生方と学校運営協議会委員の方々に参加していただき、ユニット型研究協議を行いました。予め学び合いの様子を観察する班を決め、生徒の学習活動の良さや課題を記録し、各グループで協議しました。その後、田村先生から、「探究を意識した授業づくり」や「指導と評価の一体化」についてご指導いただきました。



【感想】

- 蛙の歌の輪唱は同じリズムで音の高さも一緒なものを違うタイミングで弾き始めて重なっていたけど、フーガ ト短調は主題が繰り返されているけど、リズムも音の高さも違うものを重ねていることが分かった。
- フーガ ト短調は、曲の途中で調がたくさん変わっていることが分かった。また、調が変わることで雰囲気が違って聞こえた。
- フーガ ト短調は、曲調などが変化して重なったときでも、なぜ美しく聞こえるのだろうか？

卒業後の進路を考える～「行ける」から「行きたい」へ～

6月29日(木)に3年生とその保護者を対象に進学説明会を行いました。宇部市内及び近隣地域の10校の校長先生等をお招きし、各校の特色を知ること、進学への意識を高め、自己の進路にふさわしい高等学校選択を考える機会としました。3年生は、保護者と隣り合って座り、親子で真剣に各学校の説明に耳を傾けていました。



進学先で「何を学び、何を身に付けたいのか」を見据えて、「行ける学校」はどこかではなく「行きたい学校」はどこかをしっかり考えてほしいと思います。また、そのための努力を怠らないようにしてください。川上中学校の先生方は、最大限のサポートと協力をしていきます。

自然災害に備える～おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない～

地震発生時に安全・敏速に避難できるようにすることや避難体制の確立を図ることを目的に、地震対応避難訓練を実施しました。6月28日(水)13:40に全校放送で緊急地震速報を流し、シェイクアウト訓練を行いました。生徒は、学級担任の指示に従い机の下に隠れ、揺れが収まってから無言で速やかに避難場所の体育館に避難しました。

体育館に集まった後、気象防災アドバイザーの弘中秀治さんから、阪神淡路大震災における実際のコンビニ店内の動画や母親を亡くした少女の体験談などをご講演いただき、改めて地震災害の恐ろしさや命を守るための行動について教えていただきました。



【感想】

- 机の下に潜ることはできたが、思ったより机は小さく、全身まではいることができなく大変だった。実際に地震が起きたときに素早く行動するのは難しいと思いました。
- 阪神淡路大震災のコンビニ店の動画を見て、あまりにも揺れの大きさに驚きました。
- 大きな地震の後には、一日に40回以上も大きな余震があることに驚いた。地震が起こらないように注意することはできないが、今日学んだ身を守る基本行動を身に付けたり、事前に家族と相談したりして対策をしようと思いました。
- 将来の夢は建築士。地震に負けない強い家を設計し、多くの人の命を守りたいです。

“てごの会”のみなさん お世話になりました

“てごの会”の方々のご協力により、6月24日(土)にサブグラウンドの草刈りを行いました。本校は校地が広く、春から秋にかけての草刈り作業はとても大変です。そこで、毎年6月と8月の2回、“てごの会”の方々に草刈り作業をお手伝いいただいております。お陰で大変きれいになりました。ありがとうございました。

